

NPO 法人ぐんま緑のインタープリター協会 H27 活動紹介



私たちは森林や緑、水など、自然環境を守るため幅広い知識や技術を習得し、人と自然との架け橋ともいべき緑のインタープリター（解説者・通訳者）として組織的な活動をしています。

私たちは人と自然の共生・循環型社会の構築を目指しています。

NPO 法人 ぐんま緑のインタープリター協会とは

群馬県では森林や緑づくりに関する広範な知識、技術を有する指導者を養成するために平成12年度から16年度の5カ年間「緑のインタープリター養成大学」を実施し、修了者174名を「群馬県緑のインタープリター」として認定登録しました。この修了生が集まり平成15年3月、自然の解説者を目的にボランティア団体「群馬県緑のインタープリター協会」を設立しました。

平成18年7月には更なる活動に向け NPO 法人「ぐんま緑のインタープリター協会」として新たに発足しました。

<活動報告>

野鳥と自然の観察 会員資質向上研修8 1月18日(日) 藤岡市庚申山 (総務企画部会)

協会員23名が参加。ふじの咲く丘に集まり、午前中は庚申山を1周して野鳥の観察や庚申山の自然観察を行いました。エナガ、コゲラ、ヤマガラ、アオジ、水鳥では、マガモ、コガモ等の種類を見ることができました。日本野鳥の会の田中さんにも要所々々で解説をして頂きました。

午後はふじふれあい館で、関端孝雄講師に野鳥の解説と木々の冬芽についての講義をして頂きました。(櫻井)

平成26年度「自然の解説者養成講座」修了式 2月1日(日)

前橋市総合福祉会館 (普及部会)

「おめでとうございます。」関端理事長から23名が修了証を手渡され、県環境森林部曲沢修次長よりご祝辞を賜りました。その後、協会の各部会活動紹介では多数の質疑応答が有り、理解を深めました。1年間のふりかえりの発表では、「講義内容が良かった。一年間の講座回数も適当。仲間も沢山出来て楽しかった。充実感があった。」との意見や、「今後は部会や自主研究会などにも興味があるので参加したい」と意欲的な感想でした。昼食会では、多種多様の意見交換がされて、更なる知識と親睦を深めることができました。(大島)

講座修了者 23名、協会入会者 22名

講演会「シカの行動から見えるもの」 会員資質向上研修9 2月21日(日)

前橋市総合福祉会館 (総務企画部会)

講師に林業試験場の坂庭浩之氏を迎え、シカの行動調査結果とシカ被害対策について講演をして頂きました。参加した協会員25名は、毎年実施している赤城山のウラジロモミ保護のための「アミ巻き」の意義を再認識しました。講演内容は表紙ページを参照ください。(櫻井)

Mサポふれあい祭り 2月28日(土) 前橋プラザ元気21 (受託協力部会)

協会員10名が参加協力レバードコール、竹トンボ等5種類のネイチャークラフトを実施しました。クラフトを通して、自然への親しみと、協会の活動への理解を深めることができました。はじめのうちは当協会ブースを訪れる人数は多くはありませんでしたが、終わりに近づくにつれて訪れる人が増え、竹トンボ、ウッディーピンチデコレーションに人気がありました。緑の募金は6,850円集まりました。(宇多川)



<活動報告>

第13回通常総会 4月19日(日) 前橋市総合福祉会館 (総務企画部会)

協会員113名が参加(うち委任状35名)して通常総会を開催しました。関端理事長の挨拶に続いて、来賓の県環境森林部緑化推進課半藤和之課長よりご祝辞をいただきました。平成26年度事業並びに平成27年度事業案は原案どおり全会一致で承認決定されました。役員補充に伴い、浦野安孫副理事長、今泉敦志理事、茂木由美理事が選出されました。(櫻井)



講演会「身近な植物にフシギ発見！」 会員資質向上研修1 4月19日(日)

前橋市総合福祉会館 (総務企画部会)

通常総会のあと協会員64名が参加して、植物生態学者の多田多恵子先生を迎えて講演会を行いました。テーマ通り身近な植物にフシギを見る、目からうろこが落ちるような興味深い講演でした。(櫻井)



敷島公園まつり 4月29日(水・祝) (受託協力部会)

快晴に恵まれ、うらかな春の日差しを浴びながら、沢山の人々が会場に来てくれました。協会員18名が参加した私達のテントも子供たちが途切れることなくクラフト作りを楽しんでいました。緑の募金は過去最高の61,092円集まりました。(吉田)



平成27年度「大人のための自然教室」開講式 5月10日(日)

憩いの森学習センター (総務企画部会・普及部会)

昨年までの「自然の解説者養成講座」に代わって今年度から新たに「大人のための自然教室」が開講しました。「もっと身近に、もっと楽しく、自然とふれあおう」をテーマに全7回の講座が行われます。受講生は定員を上回る女性20名、男性13名の合計33名です。(今泉)



観音山ファミリーパーク「春の観察会」 5月16日(土) (総務企画部会)

一般14名、協会員10名が参加し、第1回ファミリーパーク観察会が行われました。心配していた雨も大したことなく、観察に熱心な方が多く参加されて、半日では時間が足りない程でした。(受託協力部会)



連合群馬ふれあいフェスティバル in まえばし 5月31日(日) 前橋みどりの広場

初めての出店でしたが、協会員11名の協力でクラフト5種類を行いました。テントが飛ばされそうな強風の日でしたが、親子連れや若いご夫婦の来場者が多く、にぎやかなお祭り会場でした。緑の募金は19,615円集まりました。(茂木ゆ)



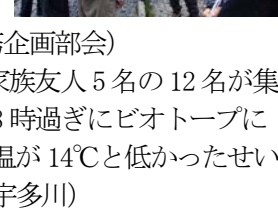
「赤城水源の森自然観察会」 会員資質向上研修2 6月7日(土) (総務企画部会)

関端理事長を講師に協会員14名が参加しました。標高1,100mからの山地帯、モミとウラジロモミ、ブナとイヌブナ、リョウブとナツツバキ等比較しながら尾根筋のアカマツ、相観から読み取れるもの、優占種は、階層構造は…など多岐にわたり、濃い内容の織り込まれたものでした。(大谷)



「赤城山春の自然観察会」 会員資質向上研修3 6月13日(土) (総務企画部会)

協会員18名が参加して関端講師並びに浦野、櫻井、大谷氏による赤城山の研修会を行いました。赤城山ビジターセンターに集合し、覚満沢から鳥居峠へ、長七郎山へ登り、小沼を経て地蔵岳の裾を戻るコースで、これから季節ごとに観察会をおこない変化を観察する予定です。カエデやドウダンツツジ、ハンノキ、サクラなど80種ほどの樹木の説明や森の遷移、土壌、昆虫などについての解説があり、みな熱心に観察しメモを取っていました。(住谷)



「ホタルの観察会」 会員資質向上研修4 6月19日(金) サンデンフォレスト (総務企画部会)

朝から雨模様でしたが、午後7時半にはサンデンフォレストの森の教室に協会員7名、家族友人5名の12名が集まりました。サンデンさんの挨拶のあと、櫻井事務局長によるホタルの生態の話があり、8時過ぎにビオトープに向かいました。そのころには雨も上がりホタルが見られる期待が膨らみました。しかし気温が14℃と低かったせいか、十数匹見られた程度でしたが、真っ暗闇に光るホタルの美しさには感動しました。(宇多川)

インプリの森整備

5月9日(土)今年度の作業開始。安全祈願祭の後、道路脇及びインプリの森の草刈を行いました。(協会員17名参加) 5月23日(土)インプリの森脇に積まれた伐採後の枝をチップパーにかけ、チップを道状に撒きました。伐採用の道を通り室沢新沼まで散策し少しの整備で良い自然観察ルートになることを確認しました。(協会員10名参加) 6月13日(土)前日に引き続き、道路脇に積まれた枝をチップパーにかけました。同時に一部コナラ林の下刈り作業を行いました。(協会員11名参加) (酒井)



<協会活動のトピック>

●観音山ファミリーパーク自然調査プロジェクト

昨年9月、県立観音山ファミリーパークの野町隆宏園長より「園の東側に広がる自然の森を有効に活用したい。自然調査や自然観察で協力してもらえないか。」との話がありました。協会では、身近な雑木林の里山を協会のマイフィールドとして活用できること、自然観察会の講師として学習の場になることから協力していくこととしました。月1、2回の植生調査と動物調査を行い、そのデータを元に平成27年度は、春夏秋の3回(5/16、8/22、10/31)の自然観察会を行うことを計画しました。今年9月までに23回の調査や打合せを行い、植生調査では、木本95種、草本80種(主に花や実)を確認し、動物調査ではイノシシやシカ、アナグマをはじめとする哺乳類13種を、鳥類調査では21種を確認しました。

「自然の森」に咲く、季節の花ごよみを作るため、今後も植生調査を継続していきます。また来年度からは定例の自然観察会を行う予定ですので、協会の参加と協力をお願いします。

●8/28 株式会社サンワ 美しいふるさと基金 遠藤宗司様より運営資金として30万円ご寄付頂きました。

<活動報告>

生きもの観察とクラフト 前橋市委託事業1 7月18日(土) おおさる山乃家 受託協力部会

11家族28名、協会員12名参加。あいにくの雨のためネイチャークラフトを午前に変更し、大澤講師の指導で木製ピンチを土台に、木の実などを貼り付け、マグネットやオブジェを作りました。午後雨はやまず、屋内での座学になってしまいましたが、浦野講師の話術と、袋から次々と出てくる観察素材に、子どもたちの目は終始キラキラし、楽しく賑やかに自然に親しみました。作品と、「笛になるよ」と配られたムクロジの実が、記念のお土産になりました。(大澤)

木工を楽しもう 森の体験1 7月26日(日) 赤城木の家 受託協力部会

赤城ふれあいの森「木の家」で、吉田卓一、五十嵐、大澤講師の指導で「焼き杉の花器」を作りました。その日、前橋は猛暑日!赤城山の中腹とはいえかなりの暑さでした。その暑さの中の作業も誰ひとりダレることなく集中している姿に感動しました。協会員の指導の賜物でしょうか?作品は皆キレイに仕上がりました。一般11名、協会員16名の参加でした。(戸丸)

川の生き物と水鉄砲作り 前橋市委託事業2 8月1日(土) おおさる山乃家 受託協力部会

一般親子20名、協会員12名参加。午前中、土屋講師の指導で水生昆虫の採集調査を行いました。サワガニなど、きれいな水に住む生き物が多くいました。午後は吉田卓一講師の指導で水鉄砲を親子で一緒に作って、的あてゲームをしました。楽しい夏休みの思い出ができたことでしょう。(櫻井陽子)

赤城山夏の自然観察会 会員資質向上研修5 8月2日(日) 赤城山 総務企画部会

コースは春と同じ。協会員18名参加。蒸し暑いが下界も羨む24℃。浦野、櫻井、大谷、土屋講師による明解な自然解説は憧れさえいなく観察会でした。大沼と15mの湖水面標高差を分ける覚満淵西端の小堰堤の役割、湿生植物・樹林帯の植生、シカの食害実態など、コースは驚嘆の連続でした。小沼を経て、時季には紅色に染まるという血の池に立ち寄り、地蔵岳横の下山路では食事のアサギマダラに出会う、感動の研修山行でした。(久保田)

赤城の自然を楽しもう 森の体験2 8月9日(日) 赤城山 受託協力部会

子供29名、自然の家スタッフ4名と協会員13名が参加しました。参加者は、覚満淵の周囲を協会員に引率されて、6人の講師(関端、浦野、亀井、須藤、大谷、土屋)が解説する場所を回りました。講師は、動植物と環境、苔の話、照度計をつかって草や樹木と明るさの関係など、少し難しい話もしましたが、みな熱心に話を聞いていました。(櫻井陽子)

榛名の自然を観察しよう 森の体験3 9月6日(日) 榛名山 受託協力部会

一般9名、協会員15名が参加し、親子班(10名)と大人班(14名)に分かれて観察しました。大人班は浦野講師、大谷講師が担当し、つつじが丘~つつじが峰の観察ではカエデの種類の多さに気づかされました。樹林内では照度計を使って光の強さの違いを比べました。(五十嵐)

親子班は須藤講師が担当して、キノコや花などを見つけたら○をつけるビンゴ表を片手に出発。自然観察をしながら蒸し湯跡、もみじの広場まで進みましたが、雨が降り出し管理棟に避難してお弁当となりました。午後はワシノ巣風穴までクイズをしながら往復し、残りのクイズやゲームを管理棟で行いました。途中から雨が降り残念でしたが、管理棟の中で体を寄せ合っただけ等を楽しむのも、また一つの思い出になったと思います。(大澤)

インプリの森整備 7月11日、25日、8月8日、23日、9月6日、12日 インプリの森部会

7月:暑くなり参加者が減ったがチップ処理、刈り払い機を使用した斜面整備を行いました。8月:相変わらず暑さが続いたが、植樹した木の周りを鎌を使い手作業で草刈り、ツル切りを行いました。足場が悪く急斜面で厳しい作業でした。9月:刈り払い機を使用して緑の県民税対象地区「三夜沢地区」下刈りとインプリの森のササ刈りをしました。(吉本)



<活動報告>

赤城山秋の観察会 会員資質向上研修6 10月3日(土) 赤城山 (総務企画部会)

21名の協会員が参加し、終始お天気に恵まれた観察会となりました。赤城公園ビジターセンターに集合し、覚満淵をまわり、鳥居峠、長七郎山、小沼、血の池で観察を行いました。講師の亀井先生に、自然の仕組みや、シカの生態や害について、赤城山の歴史等をご指導いただきました。長七郎山の山頂で富士見町民になって初めて、富士見町から富士山を見ることができました。遠くまで見渡せる澄んだ空気から、秋の訪れを感じることができました。(弓削田)

藤岡市市民活動フェスティバル 10月11日(日) 藤岡市総合学習センター (受託協力部会)

朝のうちは雨で心配しましたが、時間と共に天候も良くなりました。シノ笛、竹トンボ、ウッドイピンチデコレーション、ネームプレート、バードコール、木の人形ストラップの6品目です。子供たちの真剣な顔、嬉しそうな顔、皆、それぞれのクラフト制作でした。竹トンボの飛ばし方も教わりました。協会員10名参加 緑の募金4,358円でした。(竹内)

ネイチャーゲームとしおり作り 前橋市委託事業3 10月17日(土) おおさる山乃家

(受託協力部会)

午前の講師は茂木清美さんと櫻井さんで、雨のため室内でのネイチャーゲームになりました。「落ち葉のカルタ」や「ノーズ」「コウモリと蛾」では内気だった子供たちも大はしゃぎ。午後は雨も上がり「思い出のしおり」作りの素材の葉っぱ集めは自然観察会になりました。大人も子供も集中しての作業の結果は色とりどりの紅葉ラミネートが仕上がりました。(浅沼)

赤城山自然観察とアミ巻き 会員資質向上研修7 10月25日(日) 赤城山 (総務企画部会)

林業試験場の坂庭さんと協会員春山さん指導の下、協会員13名が赤城山厚生団地のウラジロモミにシカ食害対策の網巻きを行いました。例年行っている手慣れた作業で1時間足らずで用意した厚手の網を全て巻き終えました。その後、協会員9名が強風で雪も舞う悪天候の中で、シカの食害が目立つ出張山から薬師岳の尾根伝いに薄手の網を巻きました。(櫻井)

インプリの森整備 10月10日(土)、24日(土) (インプリの森部会)

10月10日の参加者は9名。インプリの森から南の沼に行く歩道の整備を終日行いました。歩道に生えたササ刈りと台風によって倒れた木をチェーンソーで玉切りにして歩道から運び出しました。ササ刈りをしていた佐藤さんがスズメバチに手の甲を2か所刺されてしまい、病院で手当を受けました。今後は更に注意をして進めたいと思います。10月24日の参加者は5名。好天に恵まれて前回と同様、倒れた大木を集中してチェーンソーで切り、片付けました。(吉本)

木の実を集めてリースを作ろう 森の体験4 11月1日(日) 赤城木の家 (受託協力部会)

一般17名、協会員7名参加し、神澤弥寿宏さんの指導でリースを作りました。集合時はかなり寒かったが、木の枝やドングリを集めているうちに小春日和になりました。木の家に来ていた2家族が午後から参加して24名全員がリースを作りました。最後に家族ごとに前に出て、自分の作品を自慢げに発表し、今年の「森の体験ふれあい事業」は全て終了しました。(吉田)

覚満淵ササ刈り作戦 11月7日(土)、8日(日) 赤城山覚満淵 (インプリの森部会)

平成27年度秋季の覚満淵のササ刈りを自然保護活動推進協議会の主催で行いました。今回は安全を考慮して前日の土曜日にササ刈りを行い、翌日の日曜日に搬出しました。インプリの担当場所は5班で、予定とおり午前中に作業を終えることができました。

11月7日の参加者は協会員9名、総勢41名、11月8日は協会員4名、総勢149名でした。8日はあいにくの雨で寒く、朝の気温は8度と寒かったが、前日に刈った長いススキは紐で束ね、短いササは袋に入れて運び出しました。5班の作業量は多く、後半は他の班の応援を得て終了することが出来ました。(吉本)

多々良沼自然観察会 会員資質向上研修8 11月28日(土) 多々良沼 (総務企画部会)

協会員20名が参加し、大谷正明講師の案内で館林美術館駐車場から彫刻の道を通り多々良沼一周6.7kmのコースで行いました。午前は樹木の観察、午後は野鳥観察になりました。私が興味を引いたのは「シナヒイラギ」です。若いシナヒイラギは葉の先端に鋭い棘があり古木になるにつれ葉は棘がなく丸味になる。人間は年を増すと頑固になる傾向があるシナヒイラギを見習わねば……。沼ではオオバンが同じ方向を向いて行動している姿が面白くて愛おしく、白鳥も5羽確認できました。秋晴れに恵まれ、樹木も鳥も会員も全てが輝いて見えました。良い解説に気分も爽快で充実した楽しい一日でした。(中間)

竹炭焼き研修 会員資質向上研修(追加) 12月5日(土) インプリ広場(仮) (総務企画部会)

協会員の協力で10/1、11/13に炭焼き釜を設置し、この日、足利工業大学付属高校の岩崎眞理先生の指導で初火入れを行いました。野焼きでマツボックリやトチノ実などの花炭の作り方も教わり、炭が焼けるまでの時間でピザを焼き、皆で美味しくいただきました。(櫻井)

